

第1問

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、設問ごとに最も適当と思われるものを選び、答案用紙の（ ）の中に記号で解答すること。なお、消費税は指示された問題のみ考慮すること。

1. かねて借方計上されていた現金過不足 ￥5,000 の原因を調査したところ、同額の手数料の受取りが二重記帳されていることが判明した。

| | | |
|----------|----------|-------|
| ア. 雑益 | イ. 受取手数料 | ウ. 現金 |
| エ. 現金過不足 | オ. 支払手数料 | カ. 雑損 |

2. 郵便局で、郵便切手 ￥400 を現金で購入するとともに、店舗の固定資産税 ￥32,000 を現金で納付した。なお、郵便切手はすぐに使用した。

| | | |
|----------|---------|---------|
| ア. 受取手形 | イ. 現金 | ウ. 通信費 |
| エ. 支払手数料 | オ. 支払家賃 | カ. 租税公課 |

3. 商品 ￥180,000 を仕入れ、代金のうち ￥30,000 は注文時に支払った手付金と相殺し、残額は掛けとした。なお、当社負担の引取運賃 ￥2,000 は現金で支払った。

| | | |
|--------|--------|--------|
| ア. 仕入 | イ. 買掛金 | ウ. 前受金 |
| エ. 前払金 | オ. 現金 | カ. 仮払金 |

4. 広告宣伝費 ￥53,000 を普通預金口座から支払った。その際に、振込手数料 ￥500 がかかり、同口座から差し引かれた。

| | | |
|----------|----------|----------|
| ア. 当座預金 | イ. 旅費交通費 | ウ. 普通預金 |
| エ. 広告宣伝費 | オ. 支払手数料 | カ. 受取手数料 |

5. 飛驒株式会社に対する買掛金 ￥290,000 について、電子記録債務の発生記録の請求を行った。

| | | |
|-----------|---------|-----------|
| ア. 電子記録債権 | イ. 支払手形 | ウ. 売掛金 |
| エ. 受取手形 | オ. 買掛金 | カ. 電子記録債務 |

6. 銀行から借り入れていた借入金 ￥800,000 の返済日になったため、元利合計を普通預金口座から返済した。なお、借入れの年利率は1.8%、借入期間は当期中の9か月間であり、利息は月割計算する。

| | | |
|---------|----------|---------|
| ア. 支払利息 | イ. 支払手数料 | ウ. 受取利息 |
| エ. 借入金 | オ. 貸付金 | カ. 普通預金 |

7. 従業員の給料 ￥600,000 の支給に際して、所得税の源泉徴収額 ￥32,000、住民税の源泉徴収額 ￥43,000 および従業員負担の社会保険料 ￥52,000 を差し引いた残額を普通預金口座から支払った。

| | | |
|-----------|-------------|-----------|
| ア. 法定福利費 | イ. 普通預金 | ウ. 住民税預り金 |
| エ. 所得税預り金 | オ. 社会保険料預り金 | カ. 給料 |

8. 建物の賃借契約を解約し、契約時に支払っていた保証金（敷金） ￥360,000 について、修繕費 ￥122,000 を差し引かれた残額が当座預金口座に振り込まれた。

| | | |
|----------|---------|----------|
| ア. 差入保証金 | イ. 修繕費 | ウ. 当座預金 |
| エ. 支払手数料 | オ. 支払家賃 | カ. 受取手数料 |

9. 増資に際して、株式 4,000 株を 1 株当たり ￥360 で発行し、株主からの払込金が普通預金口座に振り込まれた。

- | | | |
|------------|----------|---------|
| ア. 損益 | イ. 利益準備金 | ウ. 普通預金 |
| エ. 繰越利益剰余金 | オ. 資本金 | カ. 借入金 |

10. 東商株式会社に商品 ￥450,000 を売り上げ、代金のうち ￥90,000 は現金で受け取り、残額は同社振出しの約束手形で受け取った。

- | | | |
|-------|---------|---------|
| ア. 現金 | イ. 受取手形 | ウ. 支払手形 |
| エ. 売上 | オ. 当座預金 | カ. 支払利息 |

11. 当期首に、3 年前の期首に取得した備品（取得原価 ￥800,000、耐用年数 4 年、残存価額ゼロ）を ￥53,000 で売却し、代金は月末に受け取ることとした。なお、この備品は定額法で減価償却を行い、間接法で記帳している。

- | | | |
|------------|------------|--------------|
| ア. 普通預金 | イ. 未収入金 | ウ. 備品 |
| エ. 固定資産売却益 | オ. 固定資産売却損 | カ. 備品減価償却累計額 |

12. 前期において貸倒れ処理した売掛金 ￥390,000 のうち ￥156,000 を現金で回収した。

- | | | |
|----------|------------|---------|
| ア. 受取手数料 | イ. 償却債権取立益 | ウ. 普通預金 |
| エ. 現金 | オ. 貸倒引当金繰入 | カ. 売掛金 |

13. 商品 ￥250,000（本体価格）を仕入れ、代金は 10 % の消費税を含めて掛けとした。なお、消費税は税抜方式で処理する。

- | | | |
|----------|--------|----------|
| ア. 仮払消費税 | イ. 売上 | ウ. 仕入 |
| エ. 買掛金 | オ. 売掛金 | カ. 仮受消費税 |

14. 店舗の改修と修繕を行い、代金 ￥940,000 は来月末に支払うこととした。このうち ￥270,000 は改良（資本的支出）、残額は定期的な修繕（収益的支出）である。

- | | | |
|---------|---------|--------|
| ア. 未払金 | イ. 資本金 | ウ. 建物 |
| エ. 当座預金 | オ. 支払家賃 | カ. 修繕費 |

15. コピー機を購入し、ただちに下記の請求書に示されている合計額を普通預金口座から支払った。なお、当社では、単価 ￥100,000 以上の物品は備品として処理している。

- | | | |
|---------|---------|---------|
| ア. 普通預金 | イ. 当座預金 | ウ. 未収入金 |
| エ. 発送費 | オ. 備品 | カ. 前払金 |

| 請 求 書 | | | |
|--|----|-------------|-----------|
| 日商株式会社 御中 | | X8年 8 月 6 日 | |
| ご請求金額 ￥367,000 | | 仙台電器株式会社 | |
| 品 名 | 数量 | 単 価 | 金 額 |
| コピー機 | 1 | 358,000 | ¥ 358,000 |
| セッティング作業 | | | ¥ 4,000 |
| 配送料 | | | ¥ 5,000 |
| 合 計 | | | ¥ 367,000 |
| X8年 8 月 31 日までに合計額を下記口座へお振り込み下さい。 南仙台銀行 ××支店 普通 1978941 センダイデンキ（カ | | | |